

# スポフェス当日

5月29日(土)、天候にも恵まれ、東希スポーツフェスティバルを開催しました。練習の成果を発揮し、一人ひとりが力を出し切った姿は、大変立派でした。5, 6年生の演技には、1年生から5年生、見に来てくださった保護者の方々、教職員全てが、その圧倒的な素晴らしさに魅了されました。



## 学習の様子



今年のテーマ  
SDGs

### 6年生：スピーチコンテスト

旭公会堂でのスピーチコンテストは残念ながら中止となってしまいましたが、6月21日(月)の朝会で、体育館に5・6年生が集まり、スピーチを聞く場を設けました。代表になった竜江想さんは、「自分が」行動することの大切さとその根拠、未来も見すえた内容について、伝えたい言葉と思いをしっかりと頭に入れ、自分の言葉として話していました。学校代表にふさわしい大変素晴らしいスピーチでした。

### 「小さなことから変わる世界」

みなさんはクラスの係活動ではどんなことをしていますか。私は給食係として活動をしています。主な仕事は給食をスムーズに配膳できるようにすることでしたが、あることがきっかけで、「給食をしっかり食べよう」という活動を行うことになりました。

それは食品ロスの現状を知ったことに由来します。その量は年間6百万トンと推計されています。現在、日本は食料の多くを海外からの輸入に依存しているにもかかわらず、その多くを捨てている事実があります。私はこの数を聞いた時、想像できないほどの大きな数に言葉を失う思いでした。

しかし、その一方で食べ物をつくる生産者・製造者への感謝の気持ちや、食べ物を無駄にしないという意識はあっても、行動に移せていない人が多いのが実情です。

ただ、日本の人口を考えると、ものすごい量で、これを減らすことができるのかと言われると想像ができません。しかし、食品ロスを減らすための小さな行動も、一人ひとりが取り組むことで、大きな削減につながると思います。

そこで、身近なところから食品ロスを減らすために何かできないかを考えました。まずは、買い物の時に「買いすぎない」、料理を作る際「作りすぎない」、外食時に「注文しすぎない」、そして「食べきる」ことを常に意識することが大切です。しかし、日常生活の中で意識することはできるかもしれませんが、実践できるかというと、難しいようです。たぶん、それは私たちにつきつけられた数字が大きすぎるからだろうと思います。一方、スウェーデンでは、ゴミのわずか1%のみを埋立地に送り、残りは、全てリサイクル処理するという活動をしています。国はちがっても人々の意識でここまですることができます。確かに、違う国なので、全て同じことをすぐにはできませんが、スウェーデンでは続けてきて、今のような成果を出しています。だからこそ私たちも、このような小さなことからやっていくということが大切であると考えます。

そこで私たちがはじめたのが、給食係の活動です。最初はお皿に食べ物が残っていましたが、声をかけたことにより、だんだんと残すことが減ってきました。一人ひとりが意識を高めることによって、少しずつでも変わっていけるということを実感しました。

私たち人間は、資源を使いすぎてしまっている中で、「自分一人だけなら…」という簡単な気持ちを改める必要があります。小さなことでも自分ができることから始めていくことが大切です。そうすることで、私たちの子孫に資源豊かできれいな地球を残すことができるのです。そのための一歩、踏み出してみませんか。

## お知らせ

### 5, 6年生宿泊体験学習について

■5年富士宿泊体験学習：延期 10月12日(火)～13日(水)に実施予定

■6年日光修学旅行：延期 10月1日(金)～2日(土)に実施予定

まん延防止等重点措置が延期されたため、横浜市ガイドラインに基づき、当初の予定日に実施することができなくなりました。詳細につきましては、当該学年保護者に通知済みです。

### 東希小教職員

4月の学校だよりでお伝えした際未定だった教職員が全員決まりましたのでお知らせいたします。

A E T :  
I U I :  
理科支援員 :  
I C T支援員 :  
日本語指導 :